

本科1期確認テスト講評(中3生)

●英語●

・中3選抜東大英語(3EJSS)

中3になり、テストの内容がぐっと難しくなったように感じた人も多かったのではないのでしょうか。今回のテストでは、おおよそ7割以上の得点を目標としてもらいたいところでしたが、【4】の和文英訳の問題で特に差がつかしました。英訳という難易度の高い問題で、テキストに掲載されていない英文も多かったため、文法の学習がしっかりできていることが前提としてあり、あわせて語彙力も問われました。普段の基本例文テストでは点数が取れているのに、今回の【4】、そして和訳問題の【3】で失点が目立ったという方は、語彙力を高めていきましょう。今回の問題の中で知らない単語・表現があったら、復習しながら同時に覚えていくと効率よく語彙を増やせます。

また、【5】は読解問題でした。今後、高校生になるとさらに読解問題の比重は高くなりますが、文法と語彙の2つの柱が重要であることに変わりはありません。今後はテキストに出ている問題そのままのもののだけでなく、初見の英文やちょっと形式の変わった問題にも慌てず対応できるよう、丸覚えではなく、正しく「理解する」ことを意識して学習を進めましょう。

個々の文法事項の背景にある考え方を理解した上で覚えたことは、他の問題にも応用できる強力な武器になるはずです。

・中3英語(3EJS)

中3になり、普段の学習内容でもやや難しい項目が増えてきたと思いますが、テストの手ごたえはどうだったでしょうか。

今回のテストでは、おおよそ6割以上の得点を目標としてもらいたいところでした。全体の得点状況を見ると、【2】の空所補充と、【7】の和文英訳の問題で特に点差が開きました。【2】は時制の表現と仮定法についての文法問題です。いずれも、ただ覚えるのではなく「その表現を使う場面」を意識して学習するのが効果的です。復習の際は、なぜその答えになるのかを自分の言葉で説明できるようにしてみましょう。

【7】の英作文は、基本となる文法知識がしっかり身についており、それを正しく使えるかということが前提としてあり、あわせて語彙力も問われます。まずは今回の試験範囲の文法事項で、理解に不安がある部分はないか確認しましょう。

普段の基本例文テストでは点数が取れているのに、今回の【7】、そして和訳問題の【3】で失点が目立ったという方は、語彙力を高めていきましょう。今回の問題の中で知らない単語・表現があったら、復習しながら同時に覚えていくと効率よく語彙を増やせます。

また、意外と苦戦した人が多かったのが【6】の穴埋め問題でした。間違えたものについては、空所だけでなく文全体を今一度見直し、自分がなぜ間違えたのかという原因(わからない語彙があった／その文法事項が理解できていない／ケアレスミスなど)を分析しましょう。そして、文全体を繰り返し音読したり、書いてみたりして、丸ごと頭に入れるとよいでしょう。

今後はさらに複雑で理解に時間がかかる項目も出てきますので、不安が残る部分は夏休みなども利用して、今のうちに丁寧に復習しておくように心がけましょう。

●数学●

・中3選抜東大・医学部数学(3MJSS)

今回のテストでは、【1】複素数と高次方程式(小問)【2】図形と方程式(小問)【3】円と接線の方程式【4】因数定理と整式の割り算【5】連立不等式と領域【6】整式の割り算の余りを出題しました。高校数学Ⅱの広い範囲となり、また内容も高度だったため、得点が二極化してしまいました。できなかった人は、まず表面の【1】【2】【3】(1)までをきちんとできるようにしましょう。また、問われた内容と異なるものを答えている答案が非常に多く、この類の失点が多かったと思います。早とちりせずに、まずはしっかりと問題文を読む習慣をつけてください。

【1】は基本的な部分を扱っているのですが、7割～8割は正解してほしいところです。特に(1)(2)の計算問題で失点している人は、実数範囲での計算にも不安がありますので、十分に復習しましょう。

【2】は[A]内分点・外分点[B]平行条件・垂直条件[C]円の方程式[D]円と直線の共有点についての基本問題でした。基本となる個々の処理を確実にこなせることが、応用問題へ進む絶対条件です。理解できていないところはこの夏にしっかりと復習・定着していくようにしましょう。

【3】(1)では接線の方程式の求め方には複数の手法があるのに1通りしか使えなくて行き詰まった人が多かったです。高校数学では手法の選択の「判断」が重要になります。この点を理解しましょう。

【4】～【6】は少しずつ応用が必要な問題で、難しかったと思います。それぞれの手法を深く理解していないと太刀打ちしづらいでしょう。復習する中で理解を深めておきましょう。

みなさん、本科1期に勉強した内容の復習はできていますか？今回の試験で「何となく分かったつもり」だと全く解けない、ということを感じたと思います。夏休みまでに、基本の「なぜそうなるのか？」の理解をしっかりとっておきましょう。

・中3数学(3MJS)

【1】は展開・因数分解、絶対値や根号など混乱しやすい記号の扱い方に関する問題でした。今後さまざまな場面で利用するので、しっかり復習して満点が取れるようにしておきましょう。

【2】は2次関数の基本事項の確認でした。今回出題したものは今後さまざまな場面で応用することになりますので、きちんと理解しておきましょう。

【3】は3文字の対称式を取り上げましたが、(2)で差がついたようです。式変形の考え方はしっかり見直しておきましょう。

【4】は平方根の計算についての問題でした。(1)の操作を元に(2)ではAの値による場合分けが発生するところがポイントですので、できなかった人は理由もあわせてしっかり復習しておきましょう。

【5】は2次関数の最大・最小に関する問題で、ここでも場合分けがポイントでした。aの値によってグラフの位置が変わり、考える範囲での状況が変化します。文字定数が出てきたときには、値の変化が影響を及ぼす範囲について常に意識しておきましょう。

【6】は恒等式の問題でした。答案の記述があやふやなものが多く見られましたが、「なぜ、うまくいくのか」がわかるような記述を心がけましょう。